

# K A I H O U - Y A M A G U C H I



会報

や

ま

く

ち



山口県土地家屋調査士会



## CONTENTS

第53回 定時総会を終えて…… (議長 浦井義明) ……	1
伊能ウオーク 第4ステージ サポート報告・第5ステージ予定表 ……	2
(総括) 広報部長 …… (打越 充浩) ……	2
(4月25日) 広島会からの引継 …… (浦井 義明) ……	3
(4月26日) 岩国レポート …… (沖広 哲裕) ……	4
(4月27日) 徳山レポート …… (富永 弘) ……	5
◇ 徳山 伊能教室 …… (有馬 敏博) ……	6
(4月28日) 徳山レポート …… (曾根 章文) ……	6
◇ 防府レポート …… (三刀屋康之) ……	7
(4月30日) 防府県大会 …… (打越 充浩) ……	7
(5月1日) 防府・阿知須レポート …… (渡邊満洲生) ……	8
(5月2日) 宇部レポート …… (打越 充浩) ……	8
(5月3日) 小野田レポート …… (瀬口 潤二) ……	9
(5月4日) 下関(小月)レポート …… (     ◇     ) ……	9
(5月5日) 下関レポート …… (田代 雄三) ……	10
(5月7日) 下関県大会 …… (濱崎 進) ……	11
(5月8日) 福岡会に引継 …… (打越 充浩) ……	12
4月1日表示登記の日相談会をおえて……	20
平成11年度第2回本部研修会(3/11)実施アンケート集計結果 ……	23

## 会員の作るページ

私の思い出のスケッチ…… (萩支部 廣石 勝) ……	27
中国・四国ブロック新人研修会に参加して… (新入会員) ……	28

## 事務局だより

会員異動状況……	33
広報部より皆様の投稿のお願い……	36

### 表紙説明

上から①下関県大会(下関市長も歩く)、②サポート車とサポート隊員、  
③阿知須小学校前のウォーク風景(出発式後)



## 第53回 定時総会を終えて

議長 浦井 義明

山口県土地家屋調査士会の第53回定時総会は、平成12年5月26日(金)午後2時より、会館横の「ばるるプラザ山口」に於いて、会員総数259名のうち、95名の出席(委任状出席108名)をもって開催された。

本年は、来賓のご臨席、表彰等については、来る10月20日に開催される「制度制定50周年記念式典」に執り行うこととし、省略、簡略化することの説明が会長よりあった。また、伊能ウオークのサポートに対し、各会員の精力的な支援活動に感謝の挨拶もあった。

議案については、以下の議事を審議した  
平成11年度一般会計収支決算報告承認の件  
平成11年度特別会計収支決算報告承認の件  
平成12年度事業計画(案)審議の件  
平成12年度一般会計収支予算(案)審議の件  
平成12年度特別会計収支予算(案)審議の件

上記の議案についての執行部からの提案説明に対して、出席会員から次のような質疑が出された。

議長より、会務報告並びに議事を1時間30分で終わりたい旨の要請があったが、審議時間が余りにも短すぎる、と会員の意見により、40分延長された。

代表監事より、過大な帰属意識の高揚化に伴う出費の無駄遣いと、猪突猛進型の全体主義への傾斜に対して警鐘がなされた。

平成11年度の決算について、使途の説明を求める意見、支部交付金・助成金の内容、予備費についての質問があった。

事業報告のうち、法務局登記部門・県用地課との三者協議会における調査士会の役割と会員指導について、要望、批判が出された。

議案にはなかったが「高齢者福祉優遇規則」の変更、廃止に対しての反対意見と共済制度の拡充の要請があった。また、規則

そのものを理事会で廃止することの是非について意見が出された。

議事進行に関して、議長に苦言があったが、議長は「会議規則」に基づいて行うと答え、予定時間を30分過ぎて、採決の後閉会した。

会議規則について

採決

第23条

議長は、採決に際し議題についての異議の有無を議場に語り、異議がないと認めるときは採決の旨を宣告する。但し、異議がある旨の発言があるときは、挙手又は起立により出席会員の過半数でこれを決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

上記は、「山口県土地家屋調査士会会議規則」第23条である。この条項の趣旨は「議案について、まず異議があるかどうかを出席会員に問いなさい。異議がなければ議案を採決したものとし、異議が一人でもあれば、どの程度異議があるかどうか、手を挙げるなり、起立するかでその数を確認しなさい」と受け取れます。

過日の定時総会での採決方法については、この規則のとおりに行きました。いろいろ言われているようです。異議があれば発言せよ、といっても、反対の意思表示はなかなかしにくい。どうも強行的だ。せっかく一日を費やして総会に出席したのだから、せめて、挙手くらいして、賛成の意思表示だけでもする価値はある。という意見もあります。

会議規則により議事を進行するのは議長の当然の責務であります。会議規則23条の規定が実態にそぐわないのであれば、規則を変更する必要があるかもしれません。意見の相違を前提に議論し、決定したことを遵守するのは民主主義の根幹です。

## 伊能ウォーク第4ステージサポート報告

## 総括・引継式

広報部長 打越 充 浩

若葉の美しい時期、台風のような「伊能ウォーク」も各支部長、会員の協力を受け、4月25日に広島会より引継ぎ、二週間に亘り県内約240kmをサポートすることができ、5月8日には無事福岡会に渡すことができました。

ウォーク参加者は延べ4,380名が参加、土地家屋調査士が出発式、到着式、お茶の接待に546名（会長以下役員を含めると約600名）ほど参加しました。これは会員の2倍となり協力してくれた会員は複数回サポートに加わったことになり、深くお礼申し上げます。

地図展は県下6会場で2,387名の見学者を記録し、設営の為に早期より見学勉強をした努力の結果と思います。

山口県通過の特徴は、山口県が阿知須で2001年7月14日(土)から9月30日(日)まで79日間開催される「山口きらら博」のキャンペーンをこの伊能ウォークと共にPRするために要所で「きららフレンズ」、「きららバンド」を導入し花を添えたことでしょう。

以下、県内通過に伴う記録です。

平成12年4月25日(火)引継式——岩国市

5km（晴れ、平均20℃）

13:00和木町の「あけぼの公園」で引継式が行われたが、直前でコースを間違えて15分ぐらいウォーク隊が会場に入ってこないアクシデント有。

広島会のオレンジ色、山口会の黄色と統一されたスタッフジャンパー姿の両会員約40名、両会の旗（のほり）が数十本で迎えた。

広島会中友会長より山口会乗川会長が連合会の旗を引継ぐ。

式後、乗川会長以下副会長等5名、岩国市役所まで約5kmを歩く。

14:20岩国市での到着式

井原岩国市長が少し遅れて小図に署名。会員に友人がいるとのことでお茶のサポート隊を激励された。

## ● MEMO ●

ウォーク参加 130名＋見送り(40名)=170名  
調査士会サポート 21名  
お茶の接待、到着式場のみ  
島根会視察  
地図車、サポート車を受け継ぐ

## 伊能ウオーク第4ステージサポート報告

## 4月25日：広島会からの引継

岩国支部長 浦井 義明

日頃いわゆる“地べたを這いずり回るような”仕事をしている、我々土地家屋調査士が、今日は目線が水平より上にいく日。数ヶ月より周到に準備したハレの日の始まりであった。

その日は4月24日、広島県佐伯郡大野町の役場での、スタッフミーティングへの、打越山口会担当部長、浦井岩国支部長、河内岩国副支部長の3名の出席で始まった。明日は広島会から山口会への引継式、粗相のないようにと緊張の面持ちでミーティングに参加する。

朝日新聞の担当者の方も大阪本社から西部本社への引き継ぎ。大野町役場の方々も、広島県内通過市町村から情報を十分得て余裕のある表情。広島会の面々も、明日は相撲でいえば、千秋楽を迎えるような表情である。我が山口会も、5月8日の山口県内最後のミーティングには、このような余裕のある表情を浮かばせるのだろう、と、にんまりしながら、終了の時間を待った。

いよいよ、本日（4月25日）広島会から山口会へ引継式の始まり。予定の時間になっても、ウオーク隊はなかなか到着しない。どうも案内図に誤りがあったのと、地元の地理に詳しい人が先導にいなかったらしく、道を間違えたらしい。これは明日（26日）のウオークへの反省材料とさせていただき、ミーティングでしっかり周知徹底させよう。幸い我々岩国支部の受け持ち区間

に関しては、10日前の4月15日に、6名で予行演習を行っているので抜かりない。

約15分遅れでウオーク隊は到着した。広島会のオレンジの服と、山口会の黄色のお揃いの服が総勢約40名、それに両会の旗（のほり）が数十個の林立で迎える風景は壮観であった。

本体、関係団体の引継ぎの報告は省略。広島会中友会長から、山口会乗川会長へ引継と挨拶の始まり。連日数10kmの歩行を敢行している、ウオーク隊の方々（本日の参加者約130名）にとって、次々の挨拶は辟易されたかと思いきや、傾聴して戴いたのも、今日までのウオークサポートのおかげと感じられた。

山口会岩国支部の本日の担当受け持ち区間は、5kmだけとはいえ、慣れないことの連続。半年後の10月には、山口会に再度引き継がれる、本土両端の県の重責を感じながら、車両、備品の点検、チェックを行った。

岩国支部の受け持ち期間には、伊能図展、伊能教室共に開催されない。それが故に、点検、チェック作業で、レプリカとはいえ伊能大図を拝見した支部会員は、感動と躍動を覚えていた。

さあ、いよいよ、明日からは、清流錦川の麓の名勝錦帯橋を渡り、歴史の息吹が残る街道山陽路へ、楽しく、元気よく出発だ。

## 伊能ウォーク第4ステージサポート報告

## 4月26日：岩国レポート

岩国支部 沖 広 哲 裕

4月26日(休) 天候：晴れのち曇り  
 出 発 地：岩国市役所  
 出発時間：AM 8：45  
 到 着 地：玖珂町こどもの館  
 到着時間：PM 3：10  
 ウォーク距離：24km  
 ウォーク参加人数：約70名  
 調査士サポート隊員数：31名

雨合羽姿の出発式となりましたが式典終了後、午前8時45分岩国市役所前でウォーク隊約70名を見送る。

最初の休憩地吉香公園に向う途中、このウォーク隊に無料開放した錦帯橋で朝日新聞写真部のカメラがセットされた。公園内では4月27日の17時30分より放映される5時からワイドでの為に大内隊長やステージ隊の方々に山口朝日放送（Y A B）の津山奈穂子レポーターが話を聞く。

予定通りの行程で新岩国駅で休憩を取り、昼食場所である師野公民館へ向う。一行には調査士サポート隊の田村会員のお世話で自治会の方から豚汁が振舞われた。昼食後、雨も上がり13時に次の休憩地東部コミュニティセンターを目指して出発、途中本日の難所である欽明路峠標高220mを全隊員無事越え休憩を取る。

調査士会のお茶やお菓子のサービスでは皆さん褒めたのか甘いチョコレート、船に人気があった。到着場所である玖珂町こどもの館では雨上がりの心地よい風の中、玖珂町長ほかたくさんの職員のお出迎えもあり、和やかな雰囲気で行員の見守る中で自治体として263番目の地図署名が行われ全員による写真撮影がされ解散の運びとなった。





## 伊能ウオーク第4ステージサポート報告

## 4月27日：徳山レポート

徳山支部 富 永 弘

4月27日(木) 天候：曇り一時雨

出発地：玖珂町子供の館

出発時間：AM 7:45

到着地：徳山市民館

到着時間：PM 4:20

サポート区間：玖珂町子供の館から徳山市民館

距離：32km

ウオーク参加人数：約130名

調査士サポート人数：16名

出発式 玖珂町子供の館 7:00~7:45

出発式は、見送りだけで湯茶のサポートは行わなかった。

のほりを周囲に立ててPRし岩国支部を含む20数名で見送りました。

J R 米川駅 9:10~9:25

のほりを周囲に立てて、テントを張り、湯茶のサービスをした。

湯茶・冷茶・インスタントコーヒー・飴・チョコレートを提供した。

岩国支部の残りの飴・カステラを置いていたら、少量のカステラに人気があった。(朝一で7km歩いた後だからか?)

単線の無人駅で、トイレが構内に1つしかないため、時間内に全員がすませられなかった。一考の余地あり。

休息 J R 高水駅 10:20~10:35

サポートを省略した。

昼食 勝間ふれあいセンター 11:10~12:00

のほりを周囲に立てて、湯茶のサービスをした。

湯茶・冷茶・インスタントコーヒー・飴・チョコレート・バナナを提供した。

バナナは、以前ウオークに参加をしたという地元の方から差し入れがあったものである。

バナナを小切りにしたら結構出た。

給湯室を使わせてもらって本日の湯茶を沸かし直した。

休息 J R 周防久保駅 12:50~13:05

サポートを省略した。

休息 J R 花岡駅 14:05~14:20



## 伊能ウオーク第4ステージサポート報告

## 4月27日：徳山伊能教室

徳山支部

有馬敏博

日時 4月27日から28日  
場所 徳山美術博物館  
展示内容 伊能大図(8枚)、伊能中図(21枚)、  
伊能小図(3枚)、ビデオ放映(伊能忠  
敬の測量1-5)、伊能写真のパネル  
展示等

広告活動 事前に徳山市内の小学校に案内状及  
びポスターの配付  
徳山、新南陽、下松地域を主に4月  
26日付けの広告チラシ  
周南地方に配付される日刊新周南の  
4月26日号に掲載

経過報告 4月26日水曜(設置)  
支部会員 15名 13時から15時30分  
4月27日木曜(伊能教室)  
支部会員 8名 10時から16時  
来場者数 155名

4月28日金曜(伊能教室)  
支部会員 5名 10時から16時  
来場者数 59名  
4月29日土曜(撤収)  
支部会員 19名 9時から10時

↓  
防府支部へ引き継ぎ

備考 2日間の伊能図展でしたが、平日であ  
ったこともありトータル来場者数が  
214名とふるわなかった。しかし、徳  
山美術博物館に設置したおかげで、  
貴重価値もあがり見栄えがよく来場  
者には好印象でした。ビデオ放映に  
足が止まる来場者が多くビデオは5  
本ありましたが、放映中のビデオ1  
本を最後まで見て帰られる方が多か  
ったです。

## 4月28日：徳山レポート

徳山支部

曾根章文

4月28日 天候：晴  
出発地：徳山市民館  
出発時間：AM8:45  
到着地：JR戸田駅  
到着時間：PM11:30  
ウオーク距離：11.8km  
ウオーク参加人数：209名  
調査士サポート隊員数：20名

湯茶サービス回数・内容・分量等

出発 8:45 徳山市民館出発  
休憩 9:50~10:05  
新南陽中央公民館  
到着 11:30 JR戸田駅到着

感想・問題点・アドバイス等

★今日は多少風があったが、天候には恵まれ絶好  
のウオーク日和であった。

- ★当初の私たちサポート隊の予想では、天気もい  
いたため休憩の湯茶は冷たいお茶に人気を集まる  
と思っていたが、ほとんどの方が熱い豆茶を好  
んで飲まれた。また、コーヒーも人気があった。
- ★昼食時の休憩には、徳山の青木フグさんのご好  
意によりフグ汁がふるまわれ大変参加者に好評  
であった。
- ★正直な話、伊能ウオーク隊が到着する前はサポ  
ートはこんなめんどくさいことをと思っていた  
が、参加者たちの感謝の言葉や笑顔を見ている  
と、サポートは役に立っているなあ、やって良  
かったなあと心から感じている。
- ★これから暑くなっていくが、皆様が健康で無事  
完歩されることをお祈りし、次にバトンタッチ  
した。



## 伊能ウォーク第4ステージサポート報告

## 4月28日：防府レポート

防府支部 三刀屋 康之

出発地：JR戸田駅  
 出発時間：AM12:15

防府市立富海小学校（トイレ休憩）  
 到着時間13:04 出発時間14:00

児童・先生の出迎えを受け、トイレ休憩、お茶等の接待は休校日ではないと言うことで行わなかった。

出発までの間、ウォーカーの皆さんと児童による交流がみられた。

ここから、松浦防府市長もウォークに参加。14時出発

牟礼公民館（本日最後の休憩所）  
 到着時間15:10 出発時間15:30

疲れが見えるものの、残すは最後の行程であり、お茶・コーヒー・チョコレート・館の接待により、元気を取り戻して頂いた様子。

防府市役所（到着式）  
 到着時間16:20

予定どおり到着。市役所職員、防府支部会員全員、一般市民等の出迎えを受け、歓迎の和太鼓を聞きながら一人の乗権者もなく全員元気に到着。到着式後、お茶等の接待を行った。

気付き

ウォーカーの皆さんは、休憩の際に暖かい飲み物を好まれる。

特に、コーヒーを喜んでくれた。

キャンディーは、色々な種類のものを準備したため、カラフルさから見た目にも喜んでくれたようである。

## 4月30日：防府県大会

広報部長 打越 充浩

4月30日(日) 天候：雨 平均14℃ 10km

9:30 山口県で初めての県大会である。  
 JR防府駅南の「であいの広場」において出発式。  
 朝日新聞西部本社 羽原代表、山口県小河副知事、防府市助役、乗川会長等の挨拶。

10:10 きららフレンズのショーで会場が盛り上がった後、ポツポツと小雨が降り始めた中、372名が元気に出発。  
 ウォーク参加者は10kmの周回コースを約2時間後に先頭がゴール。  
 お茶の接待は出発、ゴールの同一地点にてサービス。  
 平行して行われた「伊能園展」はJR防府駅北側の「アスピラート」にて開催

(中国、大図の一部)。

会場が一階のロビーということで、ビニールシートの上に地図を展示、フロアも変形なので中国と大図の一部となったが、565名の来場者があり、調査士のPR冊子を手渡した。

## ● MEMO ●

ウォーク参加 372名+見送り(40名)=412名  
 サポート隊

29日 地図展設営 39名  
 (徳山、防府、下関)

30日 県大会 50名  
 (徳山、防府、下関)

お茶の接待 出発、ゴールの同一地点  
 地図展 565名  
 熊本会視察

## 伊能ウォーク第4ステージサポート報告

## 5月1日：防府・阿知須レポート

山口支部長 渡邊 満州生

平成12年5月1日午前8時45分、防府市役所を出発した伊能ウォーク隊は総勢137名であった。

前日の雨はあがり、今日は五月晴れとなり、日中の気温は23℃まで上がり、ウォーク隊は、かなり汗をかいたものと思われる。

防府市役所を出発して約1時間、いよいよ山口支部にバトンタッチとなる「佐波川大橋詰」に先頭が到着した。

人数を確認したら、きっちり137名おり、1人の落伍者もなく、会員一河ほっとした。

20分のトイレ休憩の後午前10時出発し、次の目的地の秋穂町「大海総合センター」に向かう。

ところで、防府市から秋穂町に入った我々の姿を見て、1人の歩行者からこのウォークにぜひ参加させて欲しいとの要望があり、どこまで歩くことができるか聞いたところ、終点の阿知須町役場まで歩くということなので、参加していただいた。

「大海総合センター」で昼食休憩中に鳥根会の会員が視察に来られ、三好副会長が対応していました。

午後0時に出発。午後1時30分、山口市秋穂二島の「幸崎公園」に到着した。

午後1時45分に同所を出発し、周防大橋を渡り、一路到着地の阿知須町役場へと向かう。

午後2時50分、待ちに待ったウォーク隊が到着し、幼稚園児、バンド隊の歓迎を受けた。

宇部支部の会員も大勢手伝いに来ており、山口支部の会員も意を強くした。

町長が記念の署名をし、スタッフミーティングを終えた後、今日の行事は終了した。

5月2日(火)、午前8時30分、阿知須町長の出発式の挨拶の後、来賓として、私と山口県測量設計業協会の代表者の挨拶の後、全員ストレッチ体操を行い、午前8時45分、ウォーク隊は元気よく出発した。

## 5月2日：宇部レポート

広報部長 打越 充 浩

平成12年5月2日(火) 晴れ 平均気温20℃  
阿知須町 — 宇部市 19km

8:45 渡邊支部長の挨拶後、出発。  
阿知須小学校前では全校生徒360名が見送りで、ウォーク隊の顔もほころぶ。  
町境までは、町長も歩いた。

11:15 昼食の西岐波市民センターでは宇部支部の手配した「みそ汁」がふるまわれた。

14:00 ウォーク隊は常盤公園で、数百羽の白鳥や色とりどりのツツジを見ながら宇部市役所に到着。

一方宇部郵便局ではロビーにてパネル及び中国の一部を展示。会場に設置されたビデオ放映を多くの方が見た。

## ● MEMO ●

ウォーク参加 123名+見送り(400名)=523名  
サポート隊 35名(山口、宇部)  
お茶の接待 3回  
伊能教室 125名

## 伊能ウォーク第4ステージサポート報告

## 5月3日：小野田レポート

副会長 瀬口潤二

5月3日

午前7時30分宇部市役所前に集合した宇部支部の会員、ほとんどの会員が、何らかの形で参加しました。

最長老の会員は、自転車で、宇部市役所から小野田市役所まで完歩です。

昼食休憩中は、小野田市内のきららビーチ焼野で日本一おいしい「小野田のアサリ」がサービスされた。

「小野田のアサリ」は、地元の婦人会の人たちによる、心からのご接待です。

伊能隊は、小野田市体育館にて山口会単独開催中の伊能教室に立ち寄る。大団の大きさにびっくり!!

伊能中国の美しさに感嘆する伊能ウォークのデリー隊参加の人々。

到着地まで1.5kmの場所で、一休み。

小野田市役所到着は、小野田吹奏楽団のマーチ演奏による歓迎です。デリー隊の参加人数は、278人。

山口県に入って最高の参加者となりました。

## 5月4日：下関（小月）レポート

副会長 瀬口潤二

5月4日（国民の休日）

8時50分、下関の小月に向かって小野田市役所を出発した。

22kmの行程、私もデリー隊に登録し、完歩をめざす。湯茶のサービスがこんなに待ち遠しいとは……。

調査士会のサポートも捨てたものではない。

明日は子供の日、少子化で少なくなったけれど、鯉幟が泳いでいます。韓国から参加されているキムさんの日本語にはびっくり。伊能ウォーク本部隊の中で、勉強しただけだとか。

日本料理と韓国料理の違いなど話していると、あっという間に、昼食場所に着きました。

本州の最端、下関市まで後わずか、お昼は、山陽町の植生、青年の家です。

今を盛りにフツジの花がでむかえます。

デリー隊に参加して感じたこと

情報の氾濫で、現実と仮想の区別が、若者とい

わず社会の隅々に浸透している。

現実を感じるには、人間が二本足であること、目的の旅に向かって一步一步「歩く」ことが一番だ。

20世紀の生み出した便利さの中、忘れそうになる。「歩く」という人間の行動が、実は、21世紀のカギになるのではないか？

一日一日は、大した距離ではないけれど、日本全国を旅し、大地を踏みしめながら、人々と出会い、人々と語る大内隊長に、弘法大師のような風格さえ感じる。



## 伊能ウォーク第4ステージサポート報告

## 5月5日：下関レポート

下関支部 田代雄三

5月5日 天候：快晴 平均気温27℃  
 出発地：JR小月駅  
 出発時間：AM8：45  
 到着地：下関市役所  
 到着時間：PM2：00  
 ウォーク距離：18km  
 ウォーク参加人数：約300名  
 調査士サポート隊員数：50名

## 湯茶サービス回数・内容・分量等

出発	8：45	JR小月駅
休憩	10：00～10：20	長府東公民館前
	11：15～12：15	長府関見台公園
	13：10～13：30	関門トンネルみも すそ川公園
到着	14：00	下関市役所

3カ所で温茶、冷茶、コーヒー、飴、チョコレート、煎餅等をサービスした。冷茶、お菓子ではチョコレートに人気があった。

## 感想・問題点・アドバイス等

ウォークルート途中の信号のない交差点・T字路に交通量の多少を問わず交通指導とまではいかないにしても、ある程度の監視役の必要性を感じた。歩こう会所属の方と一般参加の方はかなり歩行速度のばらつきが見られ、ご高齢の方が多数参加されている場合等、これから暑くなる中で通常より多めの休憩時間をとるなど臨機応変の調整が休憩箇所担当係として益々重要性を占めていくでしょう。また、初夏を思わせるような汗ばむ陽気となり、到着時にはかなり日焼けをされていたので、肌の弱い方はこれからの時期はご注意ください。



## 伊能ウオーク第4ステージサポート報告

## 5月7日：下関県大会

下関支部 濱崎 進

日 時 平成12年5月7日(日)  
10:00~16:00  
場 所 下関市立長府中学校  
サポート隊員動員数 下関支部会員17名  
補助者2名

展示内容／伊能大図（71枚）、伊能中図（21枚）、伊能小図（3枚）、ビデオ放映（伊能忠敬の測量4巻）、カセットテープの再生、伊能写真のパネル展示、国土地理院の余色立体図、国土地理院の道中絵地図、明治21年作成の赤間関区全図（前田博司下関支部会員所蔵）の展示、1856年作成長府地区の古図（前田博司下関支部会員所蔵）の展示、忌宮神社境内絵図（前田博司下関支部会員所蔵）の展示

来場者数／425名

経過報告／綿密な図展計画案に基づき、4月29日、30日の防府会場における図面展示の宿泊見学並びに協力（29日は支部長以下4名、30日は支部長以下16名）、5月3日は小野田会場における図面展示の見学並びに協力（支部長以下5名）、と手伝いを兼ねて学習したお陰で本番はスムーズに設営することができた。当日は午前6時30分から順次集合、会場を午前7時に開錠したので、作業を開始した。伊能大図には、特に配置の精度に注意を払い、正確に展開した。伊能図配置担当、ビデオ担当、パネル展示担当、受付担当及び案内板担当、に分かれ、全ての作業を午前9時30分に終了し、10時からの展示開場を待った。開場後は、会員が四隅に陣取り、図面の警護にあたった。当支部会員の前田博司会員は地元でも有名な郷土史家であり、特に伊能日誌を熟読のうえ整理され、伊能図の解説をされた他、同氏秘蔵の図面を展示され、支部会員の俄か解説者も登場し地元住民との対話が和やかに弾んだ。地理的に不便な体育館であったので、来場者数が不安であったが、盛況の入りであった。午後4時過ぎに伊能図展を終了した。終了と同時に展示物の撤収作業を始め、会場の清掃を終え、福岡会に展示物全ての引継ぎを終えたのが、午後5時30分であった。

## 伊能ウオーク第4ステージサポート報告

## 5月8日：福岡会に引継

広報部長 打越 充 浩

平成12年5月8日(日) 晴れ 平均気温26℃  
下関市—北九州市 4km

- 8:45 下野支部長の挨拶後、出発。  
この日、伊能隊よりスーパーウオーカーの認定が行われ、75回参加の男性が表彰された。  
山口県最後の日とあって乗川会長以下約15名ほどが歩く。  
途中、養治小学校の生徒及び先生が歩道での見送り。これを受けながら関門トンネルの人道（関門海峡の下）を歩き福岡県に入る。
- 9:30 門司区のノーフォーク広場にて引継式。  
山口会 乗川会長が福岡会 佐藤会長にオレンジ色の連合会旗を渡して、当山口会のウオークサポートの前半は終了した。

## ● MEMO ●

## ウオーク参加

下関—門司 約150名+見送り(30名)=180名

門司—北九州市 320名+見送り(50名)=370名

サポート隊 30名

お茶の接待 なし

## 感 想

日頃「境界がどう」、「地図の精度がどう」と言っている毎日で、自然体になって動くという行動がなかなかない時に連合会の英断？で伊能ウオークサポートが決定し我が山口会にもやって来ました。広報部が50周年事業の一環として受けもち、制度のPRと土地家屋調査士という資格名の広報に一

生懸命努めた。

中国ブロック（広島）で連合会 松岡広報部長よりの説明会が始まりであった。朝日新聞山口支社での第一回会合の時、ウオーク事務局の遠藤氏より調査士会のサポートで伊能ウオークが順調に行っていると初顔合わせでお礼を述べられたとき、逆にプレッシャーになってきた。三好副会長と兵庫会（姫路）に視察に行き、マニュアルの「目立たず裏方としてきっちりサポート」が統一ジャンパーにのほり、新調のテントと調査士会のボルテージは上昇中!!責任分担と連帯の中で支部長にお願いするため、支部長会議に出席。その時に兵庫会のビデオを放映して大変さを理解していただき、協力を求めました。理事会の昼食が「カップラーメンとおにぎり」とのパフォーマンスもあり、少しずつ伊能ウオークが浸透してきました。愛媛会の「しまなみ海道、地図シンポジウム」にも山口会から多くの人々が参加し、伊能ウオークが近づいて来ました。

私の準備不足のまま引継式がきました。あとは支部長以下会員にお願いするのみです。情報の少ない中、支部長は準備よくサポートをしていただきました。支部間における重複方式と応援支部導入も良くトラブルなしで流れていき、山口会のジャンパー、のほりで団結力を示し、視察単位会にインパクトを与えたと思います。支部長によると、各支部とも会員の80%以上の出席になり、高齢の会員もジャンパー姿で見送り等に参加して、通常の研修会とはちがった意味での和が出来たような気がしました。連合会から単位会への全国的な組織力を作った先輩と調査士の性格がこのウオークサポートを完全なものにしていると思います。



# 伊能ウォーク フォトレポート



広島からの引継式



三田会館のウォーク



岩国の昼食風景（熱いとん汁）



玖珂町 子供の館を出発

徳山 伊能教室



徳山 会員のウォーク





防府県大会 園芸サポート



防府県大会 「伊能回展」

周防大橋を歩く







小野田市役所出発

下関お茶サポート



下関伊能図展  
前田会員所有古地図に見いる

下関県大会出発



下関聖治 小学生の見送り

福岡 引継式



## 山口会伊能ウオーク・土地家屋調査士サポート隊員数の報告

日 付	出席総数	岩国	徳山	防府	山口	萩	宇部	下関
12年4月24日(月)	2	2						
12年4月25日(火)	21	21						
12年4月26日(水)	51	33	14	4				
12年4月27日(木)	40	13	25	2				
12年4月28日(金)	53		29	20	4			
12年4月29日(土)	39		15	20				4
12年4月30日(日)	50			20	14			16
12年5月1日(月)	66			20	15	8	23	
12年5月2日(火)	35				9		26	
12年5月3日(水)	31						26	5
12年5月4日(木)	25						18	7
12年5月5日(金)	44							44
12年5月7日(日)	59					6		53
12年5月8日(月)	30							30
合 計 数	546	69	83	86	42	14	93	159

(連合会の保険対象者、テラー隊として歩いた会員等は含まない。)



「平成の伊能忠敬・ニッポンを歩こう！」  
 全国ウォーク通過市町村一覧 2000年10月  
 第5ステージ（山口会 復路）日程

日	曜日	出発場所	通過市町村	到達場所	距離
1	日	大分市	大分県大会 ②	大分市	
2	月	大分市	⇨	別府市	15
3	火	別府市	⇨日出町⇨	山香町	23
4	水	山香町	⇨	宇佐市	20
5	木	宇佐市	⇨	中津市	20
6	金	中津市	大分県⇨/⇨福岡県 吉富町⇨豊前市⇨推田町⇨築城町⇨	行橋市	29
7	土	行橋市	⇨荊田町⇨	北九州市	24
8	日	北九州市	福岡県⇨/⇨山口県	下関市	28
9	月	下関市	⇨	豊浦町	28
10	火	豊浦町	⇨	豊田町	25
11	水	豊田町	⇨美祿市⇨	秋芳町	30
12	木	秋芳町	⇨	美東町	23
13	金	美東町	⇨	山口市	25
14	土	山口市	(休養日)	山口市	
15	日	山口市	山口県大会 ③	山口市	
16	月	山口市	⇨旭村⇨	萩市	32
17	火	萩市	⇨	阿武町	19
18	水	阿武町	⇨	須佐町	23
19	木	須佐町	⇨田万川町 山口県⇨/⇨鳥根県	益田市	28
20	金	益田市	⇨	三隅町	22
21	土	三隅町	⇨	浜田市	20
22	日	浜田市	鳥根県大会 ①	浜田市	
23	月	浜田市	⇨	江津市	21
24	火	江津市	⇨温泉津町⇨	仁摩町	34
25	水	仁摩町	⇨大田市⇨	多伎町	26
26	木	多伎町	⇨湖陵町⇨	出雲市	30
27	金	出雲市	⇨菱川町⇨宍道町⇨玉湯町⇨	松江市	34
28	土	松江市	(休養日)	松江市	
29	日	松江市	鳥根県大会 ②	松江市	
30	月	松江市	⇨東出雲町⇨安来市 鳥根県⇨/⇨鳥取県	米子市	31
31	火	米子市	⇨日吉津村⇨淀江町⇨大山町	名和町	23

## 4月1日表示登記の日

平成12年度

## 「不動産表示登記」無料相談開催場所・相談件数

日 時	場 所	件数	相 談 内 容
4月4日(火) 9:00~15:00	「山口地方法務局岩国支局」 岩国市錦見1丁目16-35	2	土 地 分筆・合筆 地目変更 地積更正等
4月1日(土) 9:00~15:00	「柳井市文化福社会館」洋控室 柳井市大字柳井3718	1	
4月1日(土) 9:00~15:00	「徳山駅ビル2階」サイトス 徳山市御幸通2の28	2	建 物 新築・増築 滅失・分割 区分等
4月4日(火) 9:00~15:00	「防府地方合同庁舎」4階共用会議室 防府市寿町6番39号	6	
4月1日(土) 9:00~15:00	「山口県土地家屋調査士会館」玄関ロビー 山口市惣太夫町2番2号	5	相談員 山口県土地家屋 調査士会会員
4月1日(土) 9:00~15:00	「萩市民館」講義室 萩市江向495の4	1	
4月1日(土) 9:00~15:00	「長門市物産観光センター」2階 長門市正明市四区	0	
4月1日(土) 9:00~15:00	「宇部市シルバーふれあいセンター」 3階第一講座室 宇部市琴芝町2丁目4-25	29	
4月1日(土) 9:00~15:00	「シーモール下関」1階玄関ホール 下関市竹崎町4丁目4-8	6	
	合 計	52	

## 2000年 ミレニアム相談会をおえて

宇部支部長

上原英治

### 去年、「表示登記の日 無料相談」 にこられた人 1人……

「ミレニアム相談会をやるじゃあないか」と理事のひとりから出たのは、今年の1月の理事会でした。

今年は、「表示登記の日」じゃなくて、もっとわかりやすいキャッチフレーズを考えて、宣伝をしてみよう。やるだけやって、又去年のように1人とか、2人だったら、もう来年からはやめてしまえ、という過激な意見もでていました。

結果、広報をみてこられた人、13人、新聞（地方情報紙）をみてこられた人、16人、あまりの混雑ぶりに帰られた人、1人。計30人の来場者があり又来年、21世紀の最初の相談会も行うことになりました。

「4月1日は表示登記の日」という新聞広告は、土地家屋調査士を知らしめる効果が少なく、相談会の宣伝をして、より多くの人に相談会に来ていただくほうが、宣伝効果があるということで、今年は地元の地方紙にお願いして、インフォメーションとか、催し物案内に載せてもらいました。（宣伝費がかからない）

新聞は、宇部時報社とウベニチ新聞社にお願いして3月1日から1ヶ月の間に2回ぐらい開催のお知らせを載せていただきました。又、折込地方情報紙、サンデー宇部、サンデー小野田への掲載のお願い。宇部市、

小野田市、山陽町、楠町、阿知須町に、わかりやすく書いた原稿をもって行って、3月15日号の広報に大きく載せていただきました。

美祿や長門の方も相談にみえて、改めて、新聞、情報紙の宣伝効果のたかさを認識しました。土曜日だったのでよかったのかもしれない。ふれあいシルバーセンターで行ったこともよかったのかもしれない。会員に少しこまめに動いてもらったおかげで、びっくりするような効果があったと思います。

午前中、受付と3人の相談員を置き、午後も3人の相談員をおいて行う予定でした。

12時から理事会を行う予定で理事の人を招集していましたが急きょ、相談員以外の理事にもお願いして、8カ所相談所をもうけて、対応しました。一人、平均30分ぐらいの相談時間でしたが常時、6人ぐらい待ってもらってました。連合会から配付のビデオを流したところ、みなさん、かなり真剣にうなずいて見ておられました。伊能ウオークのチラシがまにあわなかったのが残念でした。

宣伝予算がとれるなら、「表示登記の日」の専用グッズを作り、来ていただいた方に配ることができればもっと好印象であったと思います。

相談員全員、休憩も昼食も取る暇も無く、





ウベニチ新聞社香川撮影

終了したあわただしい充実した一日でした。

相談員の皆様方、理事の方、本当にご苦  
 労さまでした。

## 平成11年度 第2回本部研修会(3月11日実施)

### アンケート調査の報告

業務部長 大森正秀

11年度第2回目の本部研修会の際に実施しましたアンケートの調査結果がとりまとめられましたので、ご報告致します。

境界標、恒久的地物、地積測量図、筆界確認書等会員が行う日常業務の中でも深くかかわりあうものであり、今回改正予定の不動産表示登記事務取扱要領の主な改正点でもあります。問題の意味がわからなくて、頭をひねられた会員もあつたでしょうが、この結果をふまえて今後の業務部の研修の指針にし、山口会の会員のより一層のレベルアップをはかりたいと思います。ご協力有難うございました。

# アンケート集計結果

## 1. 境界標について

図Ⅰ



Q1. 図Ⅰの様な場合①境界標は何を設置されますか。

1. コンクリート杭
2. 金属鋸（明示のキャップ付）
3. 金属鋸（明示のキャップなし）
4. プレート（鋸2本設置）
5. 刻み
6. プラ杭又は木杭
7. ベンキ

	Q1						
	1	2	3	4	5	6	7
岩国	8	1	0	14	1	1	0
徳山	12	3	1	7	3	1	1
防府	2	2	0	6	0	0	0
山口	7	2	1	16	1	0	1
萩	7	1	0	5	1	1	1
宇部	10	0	0	4	2	2	0
下関	5	0	0	7	4	0	0
無記支部	3	0	1	2	0	0	0
合計	54	9	3	61	12	5	3

Q2. 図Ⅰのケースで道路工事が完了していなくて近く工事に入る状況の時に①境界標はどうされますか。

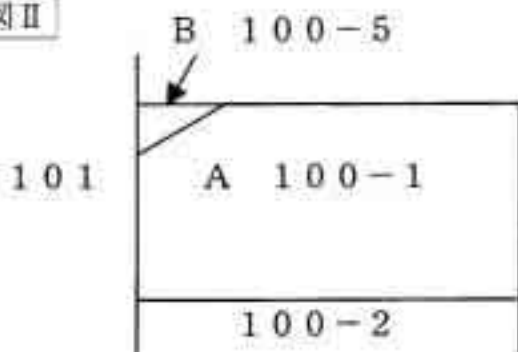
1. 引照点を設置する。
2. コンクリート杭を設置する。
3. プラ杭又は木杭を設置する。
4. 100-1、100-2沿いに控えてコ

ンクリート杭を設置する。

5. 何も設置せず工事する時に立会する。

	Q2				
	1	2	3	4	5
岩国	11	2	10	0	1
徳山	10	2	8	3	2
防府	4	0	3	0	1
山口	15	4	7	3	1
萩	5	0	5	1	1
宇部	7	4	6	0	0
下関	5	3	4	2	0
無記支部	3	0	1	0	0
合計	60	15	44	9	6

図Ⅱ



Q3. 図Ⅱの場合（100-1について100-1と100-5に分筆）筆界点に境界標を設置する場合

1. 一筆地全筆界に境界標（木杭）を設置し100-5の分筆点に永久標を設置する。
2. 全筆界点に境界標を設置し、100-5分筆点は、工事が予定されるので控えて永久標を設置する。
3. 複数の境界標（木杭）のみ設置し、引照点を設置する。
4. 100-5分筆点に境界標（木杭）

を設置し、残地には設置しない。引照点は設置する。

	Q 3				
	1	2	3	4	5
岩国	9	4	1	1	—
徳山	7	6	3	0	—
防府	5	1	4	1	—
山口	10	5	4	1	—
萩	5	4	0	0	—
宇部	4	6	0	0	—
下関	6	2	2	0	—
無記支部	3	1	0	1	—
合計	49	29	14	4	—

## 2. 恒久的地物について

### Q 4. 公図地域

1. 基本三角点、公共基準点を利用する。
2. 引照点を設置する。(キャップを付けて)
3. 永続性のある境界標を設置するようにしているので設置もしない。
4. 近隣の永続性のある境界標を引照にする。
5. その他

	Q 4				
	1	2	3	4	5
岩国	5	11	3	1	0
徳山	6	9	3	5	0
防府	2	2	3	0	1
山口	2	17	1	6	0
萩	2	4	4	1	0
宇部	1	8	4	1	0
下関	4	5	0	5	0
無記支部	2	2	1	3	1
合計	24	58	19	22	2

### Q 5. 地図地域

1. 基本三角点・公共基準点(準ずる基準点含)を利用する。
2. 地籍図根点・多角点を利用する。(路線を調査して誤差をチェックす

る。)

3. 地籍図根点・多角点を利用する。(路線まで調査しない。)
4. 引照点を設置する。(図根点(キャップ付)等調査していない。)
5. 永続性境界標を複数設置しているので設置しない。

	Q 5				
	1	2	3	4	5
岩国	6	15	4	3	2
徳山	2	7	3	3	2
防府	2	6	3	0	4
山口	1	9	9	5	1
萩	0	3	4	3	2
宇部	3	5	4	2	4
下関	2	7	4	3	0
無記支部	3	1	0	1	0
合計	19	53	31	20	16

## 3. 地積測量図について

### Q 6. 地図地域の準則123条分筆登記について

1. 地積の公差をチェックし、範囲外であれば準則124条による地積の更正を行い、範囲内であれば全筆求積を行う。
2. 地積の公差はチェックするが差引求積を行っている。
3. 地積の公差はチェックするが公差を超えたら差引求積する。
4. 辺長の公差はチェックしても、地積の公差はチェックしない。



	Q 6				
	1	2	3	4	5
岩 国	7	7	11	0	0
徳 山	3	10	2	0	0
防 府	2	4	0	1	0
山 口	7	7	7	0	0
萩	1	6	2	0	4
宇 部	7	3	2	0	0
下 関	3	3	4	1	4
無記支部	2	1	1	0	0
合 計	32	41	29	2	8

Q 7. 筆界点の距離誤差と面積測定の公差の関係について

1. 地積測定の公差と筆界点の位置誤差の公差をチェックする。
2. 地積測定の公差と筆界点距離の公差をチェックする。
3. 地積測定の公差と筆界点の位置誤差の平均二乗誤差をチェックする。
4. 地積測定の公差以内にする為に筆界点間距離の公差の1/3以内に入っているかをチェックする。

	Q 7				
	1	2	3	4	5
岩 国	8	11	7	2	—
徳 山	6	10	1	2	—
防 府	3	2	0	2	—
山 口	4	12	2	1	—
萩	2	3	0	0	—
宇 部	6	6	0	2	—
下 関	6	1	0	1	—
無記支部	2	2	1	0	—
合 計	37	47	11	10	—

Q 8. 筆界点間距離の公差早見表をどのように利用されていますか。(図解)

1. 精度区分甲3 1/500又は1/1000を見る。
2. 精度区分甲2 1/500を見ている。
3. 精度区分甲2 1/500の1/3を見る。

4. 精度区分甲3 1/500の1/3を見る。

	Q 8				
	1	2	3	4	5
岩 国	7	5	4	3	—
徳 山	3	10	3	0	—
防 府	2	2	1	3	—
山 口	4	11	0	2	—
萩	5	4	1	1	—
宇 部	2	4	2	1	—
下 関	1	5	0	3	—
無記支部	3	0	1	0	—
合 計	27	41	12	13	—

Q 9. 筆界点間距離の公差早見表をどのように利用されていますか。(数値)

1. 精度区分甲2 1/500を見る。
2. 精度区分甲2 数値を見る。
3. 精度区分甲2 数値の1/3を見る。

	Q 9				
	1	2	3	4	5
岩 国	3	8	4	—	—
徳 山	6	8	1	—	—
防 府	2	2	3	—	—
山 口	5	10	1	—	—
萩	5	3	1	—	—
宇 部	3	6	1	—	—
下 関	2	5	0	—	—
無記支部	2	2	0	—	—
合 計	28	44	11	—	—

Q10. 地積測量図が備付済の場合、実測座標計算値と点間距離を検測した測量誤差のチェックは何を基準にされますか。

1. 公共測量作業規程によって平地の場合20mで10mm
2. 地図と同様に考えて公差を基準にしている。
3. 平均二乗誤差を基準にしている。
4. 法務局に相談して処理するので形状が相似していればよい。

	Q10				
	1	2	3	4	5
岩国	4	9	4	0	—
徳山	0	11	4	1	—
防府	3	3	2	1	—
山口	2	15	0	4	—
萩	0	6	0	3	—
宇部	3	5	2	0	—
下関	0	6	1	2	—
無記支部	0	2	1	1	—
合計	12	57	14	12	—

#### Q11. 座標値について

1. 現地の特定、復元機能を備えればよい。  
従って、引照点を設置して一筆地を測量し、任意座標で作成する。
2. 将来的なGIS(数値地図管理)になることに備え、公共座標で作成している。
3. 公共座標を持っている図根点・基準点(準ずる点)を測量し、任意座標で作成している。
4. その他(ご意見があればご記入下さい。)

	Q11				
	1	2	3	4	5
岩国	2	15	2	0	—
徳山	10	8	3	1	—
防府	3	2	5	0	—
山口	18	1	2	0	—
萩	6	1	3	0	—
宇部	5	3	5	0	—
下関	5	2	3	0	—
無記支部	1	1	1	0	—
合計	50	33	24	1	—

#### 4. 筆界確認書について

##### Q12. 分筆登記の際の立会証明書について

1. 取扱要領の様式で処理し、隣接地主の印は、もらわない。
2. 隣接地主の認印は求める。

3. 隣接地主の認印は求め、且つ実測図に契印させる。
4. 立会証明書ではなく筆界確認書を作成する。
5. 添付はせず調査書で済ませている。

	Q12				
	1	2	3	4	5
岩国	0	14	4	1	0
徳山	1	6	7	3	0
防府	0	5	5	1	0
山口	1	2	11	7	1
萩	0	4	5	0	0
宇部	0	0	7	9	0
下関	1	1	8	5	1
無記支部	0	2	1	0	0
合計	3	34	48	26	2

##### Q13. 官民の境界確認書について

1. 実測平面図、断面図を作成する。
2. 実測平面図、断面図を作成し、且つ座標値を記入する。
3. 地籍図があれば利用して実測平面は作成していない。
4. 公図があれば利用して実測平面は作成していない。

	Q13				
	1	2	3	4	5
岩国	1	15	0	0	—
徳山	7	9	1	0	—
防府	7	3	1	1	—
山口	4	16	0	0	—
萩	3	5	1	0	—
宇部	3	9	0	0	—
下関	3	8	0	0	—
無記支部	2	2	0	0	—
合計	30	67	3	1	—

会員のつくる  
ページ

## 私の思い出のスケッチ

執筆部 廣石 勝

今から6年前の平成6年の6月に、英国のロンドンを旅した時に、ビッグ・ベン（国会議事堂の大時計）が見えたので、メーン・ストリートの一隅に立って、大勢の通行人の視線を感じながら、一気に描きました。





## 中国・四国ブロック新人研修会



3月18日～3月21日 広島市において  
中国ブロック各会研修員

## 新人研修会に参加して

山口支部 原田英樹

中国・四国ブロック新人研修会が、3月18日より3泊4日の日程で行われました。今年より、中国ブロック・四国ブロックの合同研修会ということもあってか新人会員はかなり多かったように思います。

研修内容は、初日が会員心得、調査・測

量実施要領、2日目が外業、計算実務、調査士の民事責任、3日目が不動産表示登記事務取扱要領、筆界確認の実務・地図訂正、事故例等、最終日は報酬の運用、登記制度の沿革、関係法令（都市計画法等）等がありました。

どの講義も必要ですが、心に残った講義は、事故例です。長力広島副会長の巧みな話術で、どこに問題があり、どうしたら事故を回避できたかを説明されました。境界確認の大切さを再認識することが出来ました。また、調査・測量実施要領、不動産表示登記事務取扱要領を再度読み直し、確認及び理解しなければと思いました。

今年から新人研修テキストが日本土地家屋調査士会連合会から発刊され、内容の濃いテキストとなっており、読みやすく、か

なり参考になりました。

残念なのは、2日目の午前中の外業が雨天のため中止になったことです。その時間は、新しい測量器の説明となりました。

最初、4日間は長いと思っていましたが、終わってみると短く、有意義な時を過ごせた期間でした。また機会があれば、こういう研修会に参加したいと思っています。

最後に、中友広島会会長をはじめ、広島会の理事の方々にはお世話になり感謝しています。有難うございました。

## 下関支部 大田 浩 治

3月18日から3泊4日、平成11年度新人研修会に参加し、充実した中身の濃い講義に感動を覚え、これからの日々の業務に役立てていきたいという思いを強くした。中国・四国ブロック合同ということで約80名という多人数。初日の熱気の中、最初の講義は広島会の中友会長による会員心得だった。熱の込められた歯切れのいい声でお話されるなかで印象深かったのは基本を踏まえた「強い調査士」となることを訴え目標を示されたことである。調査測量実施要領や不動産表示登記事務取扱要領を長力副会長が実務上の注意点を交えながら迫力をもって講義された。4月から境界標の種類に新設・既設の別、永久標識か否かも地積測量図に表示するようになるなど、調査士の仕事は今後ますます厳しくかつ専門性の高いものになっていくようだ。事故例の紹介もされ、決して油断できない慎重な上にも慎重さを要する調査士の職責の重大さを痛

感した。都市計画法をはじめとする関係法令の講義では道路幅の取り方や接道義務、住宅金融公庫の建物審査に関する事例の説明を受け、調査士が把握しておかねばならない法令の範囲の広さを感じた。それから、新人研修会の懇親会と銘打ってあるのはスケジュール上、初日だけだったが、毎夕食がそうなり山口会の参加者同士はもとより他県の参加者とも交流、情報交換でき楽しく有意義な一時を過ごせた。

最後に新人研修会開催にあたり貴重な時間を注込み御尽力くださった広島会の方々に心よりお礼申し上げます。

山口支部

## 山崎耕右

この度の研修参加にあたっては、年齢的にもひとり目立つのではと、なんとなく気が引けていましたが、いざ参加してみると結構年配の人達もおられ、最初の心配は全くの杞憂でした。

広島会の中友会長ほか講師の皆さんには、法務局、民事法務協会を通じてお世話になった旧知の方々が多かったこともあって、すぐに雰囲気に溶け込み、4日間の長丁場も元気に楽しく受講できたことを感謝しています。

研修冒頭の会長挨拶で、「自分がこの道に入ったころは、つとめて先人のそばに行き、経験、実務のノウハウ等を勉強した」との体験談を話され、その努力で今がある

のか、と感銘したところですが、その故か、山口会のメンバーは夜な夜な部屋に集まり、深夜までお互いの経験談や表示登記論に花を咲かせました。

昼も夜も若い研修員の熱気にあおられて充実した日々でしたが、ともかくも、この研修に参加したことは、自分にとって初心に戻って洗い直しができたこと、これまでは法務局側の目で見えていた表示登記が、実務サイドから見る目も持てたように思い、大変有意義であったと喜んでいます。

貴重な時間をさかれ、強力なエネルギーで指導された広島会の研修講師の方々に感謝と御礼を申し上げます。

防府支部

## 石田浩三

去る3月18日、広島市において中国・四国ブロック合同の新人会員研修が行われました。新人会員研修ということで、内容は土地家屋調査士の業務を行っていくうえでの基本的必要事項が主なものでしたが、実務経験の浅い私にとっては大変ためになる研修でした。

1日目は会員心得、調査・測量実施要領の説明・解説、2日目の外業は残念ながら雨天のため中止となりましたが、屋内での測量機器の実習、計算実務、調査士の民事責任、3日目は不動産表示登記事務取扱要領の説明・解説、先例・実務経験談等、4日目は報酬の運用、関係法令の説明と、3泊4日の短い期間ではありましたが、非常

に充実した4日間となりました。

また、初日の夜には乗川会長のご好意により、山口県会の新入会員の懇親会も開いていただき、他の新入会員とも交流を深めることができました。今後もよき相談相手とし、また同期の仲間としても情報交換等を通して交友を深めていきたいと思いをします。

この新入会員研修は、多くのことを学ぶことができたと同時に、自分の土地家屋調査士としての未熟さを自覚するよい機会でした。研修で学んだことを実務において生かしつつ、また、土地家屋調査士会で行われる今後の研修にも積極的に参加し、一步一步レベルアップしていきたいと思いをします。

## 徳山支部 永瀬勝博

土地家屋調査士という職業を知ったのは、二年前のことでした。この短期間の中で新人研修を終えるまでの過程まで進んだことをとても貴重に思っています。

これから実務に入り、頭をたたかれたり、いろいろ失敗をしていくなかで、助けあっていける同期の調査士仲間ができたこと、

若輩者で他の研修生と比べるとかなり遅れている私を優しく仲間に入れてくれた乗川会長をはじめとする山口県会の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

僅か四日間という短い期間でしたが、不安でいっぱいの私に少しの勇気をあたえてくれる研修会でした。

## 徳山支部 熊谷剛全

3月18日から21日までの3泊4日の日程で、平成11年度中国、四国ブロック新人研修会が開かれ、私も開業20日足らずの超新米調査士として参加してまいりました。

当初は、研修内容は形式的なもので、親睦を目的とした会合なのだろうと思っていたのですが、開会して間もなくの中友広島会々長の調査士への熱い思い、長力副会長の熱のこもった(ドスのきいた)講義を聞くうちに、これは長く厳しい研修会になるぞと覚悟しました。

研修の内容は、どの講義においても過去のトラブルを何度も例に挙げられ、より具体的に話して下さったので我々新米の調査士には大変参考になりました。

初日の懇親会も終わったところで予想通り外出禁止令も解除され、我が山口会のメンバー全員は乗川会長の号令のもと居酒屋へ、ここで一気に親睦が深まり、同期会の発足、5月には第1回の勉強会(山崎先生の武勇伝を聞く会)を開くことも決まりました。(幹事の石田先生、ヨロシクネ！)

2日目以降も熱のこもった講義が続けられました。あれだけ毎晩深夜に及ぶ酒宴の後にもかかわらず居眠りしている人は1人も居らず、皆真剣に講義に聞き入っていました。

講義の中で先生が「もう資格にあぐらをかいている時代は終わったんだ」とおっしゃっておられた言葉の意味を自分なりに理解し、これからは依頼者や隣接者に対し誠意を持って接し、業務に対し自信を持ち、社会的信用を自分で勝ち取らなければと身の引き締まる思いでした。

私個人として一番有意義だったのは、昼間に調査士の諸先輩方の意見聞き、夜に法務局OBの山崎先生の意見が聞けた事でした。(山口会のメンバーだけこんな、一粒で二度おいしい様な思いをして申し訳ない)

最後に、今回お世話して頂いた広島県土地家屋調査士会の役員の方々、研修の機会を与えて頂いた山口県土地家屋調査士会の皆様に御礼を申し上げます。



## 山口支部 岩 脇 薫

初めに、中国・四国ブロックの会長様及び各会の会長様、研修会を企画・運営していただいた調査士の諸先輩の方々へ、又、研修の期間中、貴重な調査士の先生の時間をお借りして、空になった事務所を切り盛りして下さった各事務所の補助者の方々へ、深く感謝致します。

この4日間は、これから開業する私にとって大きな足掛かりとなりました。ある意味ではライバル（まだまだ若輩者でこう呼ぶには、いささか抵抗がありますが）となる新入会員を、これ程まで愛情深く導いて下さったことに、これからの調査士としての業務を通して返答する所存であります。

昨今の規制緩和・コンピューター化に伴う登記業務の簡素化・公正取引委員会による自由競争の推進など、調査士の将来に不安を覚える事ばかりですが、それに対する明確な答がここにありました。

「調査士の職責からして弱肉強食の過当競争は調査士にはそぐわない。」

「いくら登記事務が簡素化されようが、測量図に対する調査士の責任は大きい。」

「常に品位を保持し誠実に質の良い仕事を遂行する為の報酬額運用基準。」

などなど、パワーのある発言に目からうろこが落ちる思いがしました。

又、同じ目的を持った方達との交わり、特にベテランの方でなく、開業直後の先輩の方の今対面している問題・不安・アドバイスなど、今の私には、たいへん役にたつお話を聞かせて頂きました。






終りに、「調査士はいいぞ、公正かつ誠実に仕事出来るのは調査士だけだぞ…うんぬん。」という話を役員の方から、伺いました。「やり易く、反面難しいことかな？」とは思いますが、この職務の楽しさをもう1つ見つけた研修会でした。



事務局  
だより

## 会員異動状況

## 1. 会員入会状況

	氏名(生年月日)	入会年月日	事務所	TEL	FAX
	石田 浩三 (S43.9.5)	H12.2.1	〒747-0809 防府市寿町1-15	(0835) 22-6125	(0835) 22-6625
	永瀬 勝博 (S49.2.28)	H12.3.1	〒745-0877 徳山市大字徳山1005-8	(0834) 32-8842	(0834) 32-8847
	熊谷 剛全 (S38.10.17)	H12.3.1	〒745-0025 徳山市築港町5-5	(0834) 27-5780	(0834) 21-7829
	兼川 健二 (S45.3.29)	H12.3.1	〒745-0016 徳山市若宮町1丁目20	(0834) 31-5525	(0834) 31-6161
	岩野 賢 (S35.6.19)	H12.3.21	〒753-0212 山口市大字下小鯖2769の1	(083) 927-8282	(083) 927-8282

## 2. 会員脱会状況

支部	地区	氏名	脱会年月日	備考
山口	山口	増満 増郎	12.2.7	廃業
山口	山口	有吉 照人	12.2.29	脱会
岩国	柳井	弘田 達朗	12.3.22	廃業
徳山	徳山	松原 英夫	12.5.31	廃業

## 3. 事務所住所変更

支部	氏名	変更年月日	変更事項	変更内容	TEL	FAX
徳山	前田 隆男	H12.4.1	事務所	〒745-0066 徳山市岡田町9番39号		
宇部	松岡 博	H12.3.26	住所	〒757-0204 宇部市大字妻崎開作1492番地の32	(0836) 44-8010	
宇部	松岡 博	H12.5.12	事務所	〒757-0204 宇部市大字妻崎開作1492番地の32	(0836) 44-8010	(0836) 44-8010

# 会 務 報 告

開催日	会 務	場 所
11. 12月14日(水)	土地家屋調査士試験合格証授与式	山口地方法務局
14日(火)	正副会長会議	調査士会館
17日(金)	法務局登記部門・県用地課との協議会打合わせ	調査士会館・法務局・県庁
21日(金)	広報部会(編集会議)	調査士会館
24日(金)	理事会打合わせ	調査士会館
12. 1月7日(金)	〔第4回〕理事会	調査士会館
8日(土)		
8日(土)	総務・財務部会、業務部会、広報部会	調査士会館
13日(水)	「伊能ウオーク」説明会	朝日新聞社山口支局
15日(土)	研究室会議	調査士会館
18日(火)	法務局登記部門・県用地課との協議会	調査士会館
22日(土)	〔自主文部長会〕	下関市
23日(日)		
28日(金)	〔中国ブロック会長会議〕	広島市
29日(土)		
30日(日)	〔境界鑑定講座〕	東京都
31日(月)		
2月6日(日)	〔「伊能ウオーク」姫路大会視察〕	姫路市
7日(月)		
8日(火)	会員指導協議会	調査士会館
14日(月)	法務局との協議会	調査士会館
17日(木)	支部企画委員と本部業務部との協議会	調査士会館
17日(木)	「伊能ウオーク」打合せ 朝日新聞社員来館	調査士会館
25日(金)	〔全国会長会議〕	東京都
26日(土)		
3月6日(月)	「伊能ウオーク」説明会	朝日新聞社山口支局
7日(火)	総務・財務部会、業務部会、広報部会	調査士会館
7日(火)	「伊能ウオーク」についての協議会	調査士会館
11日(土)	第2回 本部研修会	ばるるプラザ山口
16日(水)	広報部会	調査士会館
18日(土)	中国ブロック総務・財務・業務・広報各担当者会	広島市
18日(土)	〔中国ブロック会長会議〕	広島市
19日(日)		
18日(土)	〔新入会員研修会〕	広島市
19日(日)		
20日(月)		
21日(火)		
28日(火)	正副会長会議	調査士会館
28日(火)	業務部会	調査士会館
4月1日(土)	「表示登記の日」登記無料相談	県下7会場
3日(月)	総務・財務部会打合せ	調査士会館
4日(火)	「表示登記の日」登記無料相談	岩国市・防府市会場
11日(火)	総務・財務部会	調査士会館
14日(金)	第6回 法律関連士業ネットワーク理事会	司法書士会館
14日(金)		
15日(土)	〔地国シンポジウム in しまなみ海道〕	愛媛県
16日(日)		
17日(月)	監査会(決算監査)	調査士会館

開催日	会 務	場 所	
12.4月18日(火)	伊能ウオーク最終調整会議	調査士会 館	
20日(木)	法司調三者協議会	司法書士会 館	
23日(日)	伊能ウオーク 伊能図掲載チェック	広島 島 市	
24日(月)	伊能ウオーク スタッフミーティング	広島 県 大 野 町	
29日(土)	第1回 理事会	調査士会 館	
25日(火)	伊能ウオーク	伊能ウオーク山口県入り引継式	
26日(水)		伊能教室(徳山市)	
27日(木)		伊能教室(徳山市)	
28日(金)		休業日、防府会場地図設置	
29日(土)		山口県大会・伊能図展(防府市)	
30日(日)		伊能教室(阿知須町)	
5月1日(月)		伊能教室(宇部市)	
2日(火)		伊能教室(小野田市)	
3日(水)			
4日(木)			
5日(金)	休業日		
6日(土)	山口県大会・伊能図展(下関市)		
7日(日)	伊能ウオーク福岡県入り引継式		
8日(月)			
11日(木)	防府支部総会	防 府 市	
19日(金)	行政書士会 定時総会	ば る る プラザ 山 口	
20日(土)	岩国支部総会	山 口 市	
21日(日)			
24日(水)	司法書士会 定時総会	小 野 市	
26日(金)	第53回 定時総会	ば る る プラザ 山 口	
26日(金)	社会保険労務士会 定時総会	山 口 市	
6月1日(水)	中国ブロック釣大会	原 岐 島	
2日(木)			
3日(土)			
8日(木)	法務局との協議会	山 口 地 方 法 務 局	
8日(木)	第7回 法律関連士業ネットワーク理事会	山 口 地 方 法 務 局	
9日(金)	徳山支部総会	徳 山 市	
9日(金)	萩支部	萩 市	
10日(土)	山口支部総会	山 口 市	
15日(木)	研究室会議	調 査 士 会	
16日(金)	宇部支部総会	宇 部 市	
17日(土)	下関支部総会	下 関 市	
19日(月)	広報部会(編集会議)	調 査 士 会	





広報部  
より

**発行** 山口県土地家屋調査士会  
山口市惣太夫町2番2号 〒753-0042  
電話 (083) 922-5975  
FAX (083) 925-8552  
振替 01590-5-11085

**発行者** 山口県土地家屋調査士会  
会 長 乗川 良介  
広報担当副会長 三好 一敏  
広報部長 打越 充浩  
副部長 坂本 敬子  
理 事 柴田 敏明  
三刀屋康之

**印刷所** (株) マ ル ニ

# 9月1日は杭の日です

あなたの  
土地には  
境界杭が  
ありますか？



## 杭を残して悔を残さず

境界杭が  
あなたの土地を守ります。



山口県土地家屋調査士会 ☎ (083) 922-5975

9月、10月は境界杭設置強化月間